



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標

「夢をいただき、強くたくましく生きる子どもの育成」

平成30年6月13日 12

「農業体験学習 ネギの苗植え」(6月6日)

ホームページ版は一部内容を変更しています。

6月6日(水)は二十四節気の一つ「芒種」。芒のある穀物の種をまくと言われる日です。

朴瀬小学校ではこの日に稲や麦ではなく「ネギの苗植え」を行いました。

今年も、学校の前の広い畑をお借りして、地域の方がご指導してくださり、全校児童22名がネギの苗植えに挑戦しました。

最初は畝作りでした。地域の方がサポートしてくださり、3年生以上の子どもたちが土起こしの経験をしました。子どもたちが一生懸命作業を行ったことでまっすぐな畝ができました。地域の方からは「とてもまっすぐにできて、素晴らしい」とお褒めの言葉をいただきました。

続きまして、全校児童で「引っ張り君」を用いてのネギの苗植えを体験しました。機械を後ろに引っ張っていくことで、苗床にたくさんあるネギの苗が、まっすぐに畑に並んでいきます。その様子を見て、低学年の子どもたちからは「すごいなあ」という声があがっていました。



【「引っ張り君」を使って上手にネギを植える子どもたち】

そして、すぐに低学年の子どもたちが言いました。「土をかけていけないといけないんだ・・・」並んでいる苗の後ろから、地域の方のお母様が上手に土をかけていっているのを子どもたちは見逃しませんでした。子どもたちは「引っ張り君」の作業だけでなく、その後の重要な仕事があることを勉強することができました。

今年の子供たちは、他にも大きく「一歩前へ」進んでいます。

3年生以上の学年の子どもたちは、「引っ張り君」に苗がなくなりかけると、苗床を機械まで持って行って、開いた苗床を回収してきました。作業の進行をよく見ていて、自分から進んで作業していく姿勢が立派でした。

また、一人一人の作業になるので、その間、子どもたちは待っていなければいけません。待っている時間にも子どもたちは様々な学習をしていました。

「ネギの苗はネギのにおいがするのだろうか。」・・・実際に嗅いでみていました。

「苗床」には何本の苗があるのだろうか。・・・かけ算を使って計算をしていました。

それでは、朴瀬小学校では今日、何本ネギを植えたのだろうか?・・・さらに計算をしていました。

苗床の土と、畑の土の感じは同じだろうか?・・・実際にさわってみていました。(「畑の土はふかふかだ」という感想が寄せられていました)

畝の幅はどれくらいかな?土の高さは?苗の長さは?・・・実際に測っていました。



【苗床を進んで運ぶ】

【ネギの長さは何センチ？】

【ネギは何本あるのかな？】

作業が終わってからも、子どもたちから さんへ様々な質問をしていました。

「この後、横にある土をどうするのですか。」と2年生の児童が聞きました。その一つの質問から、これからの作業となぜその作業をするのか（ネギの白い部分と緑の部分を上手に育てるため）を地域の方から教えていただくことができました。

すべての作業を終え、「今年の作業が今まで一番上手くいきました。」とまたまたお褒めの言葉をいただきました。

学校の前にある広大な畑でネギ作りをプロの さんから直接指導をしていただき体験するのは、朴瀬小学校だけができることです。本当にありがたいと思います。

まさしく、「ふるさとが学びのフィールド」となっております。

これから、継続的な観察を通して、ネギのことなら他のどの小学校よりも詳しい小学校になっていきたいと思っております。

ありがとうございました。



【お話を聞きました】



6月の健康目標「歯を大切にしよう」



6月の健康目標は「歯を大切にしよう」です。本校は養護教諭が先週の金曜日から毎日、給食を食べた後の昼休みに学年ごとの歯みがき指導をしています。

歯みがきのみがき残しを染め出しでチェックします。

鏡を見ながら、自分のみがき方の足りないところを確認して、自分ではどのようなことに気を付けてみがいたらよいかを学習しています。

今週ですべての学年が終了する予定です。この週末、お家でも歯みがきの仕方について話題にしてくだされば、幸いです。



【給食後のはみがきです】



【保健の先生が染め出しをします】



【鏡を見て、みがき方をチェックです】

クラブ活動（お茶の体験）6月11日

6月11日（月）は4年生以上のクラブでした。今年も、学校支援ボランティアの方に講師に来ていただき、茶道を体験しました。日本に伝わる伝統を学ぶことができました。年に一度の体験ですが、子どもたちにとって貴重な体験です。

姿勢や礼儀も「一歩前へ」進んだことでしょう。

